

エゾトンボ

兵庫県：B

Somatochlora viridiaenea

環境省：—

種の概要

腹長39～50mm、後翅長41～45mm程度。胸部は金属光沢をもつ唐金色で、2本の黄色条線を有する。ハネビロエゾトンボに似るが、♂の尾部上付属器や♀の産卵弁の形状で区別できる。平地から丘陵地の樹林に囲まれた湿地や休耕田に生息し、幼虫は水深が浅い部分の泥の中などに潜んでいる。成虫は5月～10月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、西宮市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、佐用町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○			○

特記事項

CランクからBランクに変更

この10年間に、既産地から次々と姿を消したり個体数が激減していった種である。現在、かつての多産地へ出かけても、1、2頭を見かける程度になった。こういったところでは、目立った環境変化がないにもかかわらず激減しているので、原因を特定しにくい。一方で、少数ながら新しい場所での観察例が出ており、直ちに絶滅する危機にはないとも考えられる。

保護上の留意点